

いで 議会だより

第59号

平成29年(2017年) 11月発行

発行 井手町議会

編集 議会広報編集委員会

京都府綴喜郡井手町井手南玉水67

☎ 0774-82-6172 (直通)

<http://www.town.ide.kyoto.jp/>



町内3保育園の運動会

(写真提供: 杉山弘文堂)

9月議会で決まったこと	2P
研修会報告	3P
町政を問う	4P
井手町歴史散歩	10P

9月定例会で 決まったこと

利息負担軽減のため

借入金を5億4千万円返済

いづみ人権交流センターに

エレベーター整備

平成29年度補正予算

9月15日から19日まで開催された9月定例会では、平成29年度の一般会計補正予算など議案8件が議決され、専決処分の報告1件がありました。

平成28年度の一般会計・特別会計決算は、決算特別委員会に付託され閉会中に審査することになりました。

一般会計 (第2回)

5億6387万5千円を追加し、予算総額50億9647万5千円となります。

今後の大型事業に備え公債費を抑制するため繰り上げ償還に5億4千万円、いづみ人権交流センターのエレベーター整備へ設

介護保険特別会計 (第1回)

前年度の精算による返還金約2200万円を追加するものです。

工事請負契約の変更

町道3号線改良

その1工事

- ・今回変更による増額 2234万4120円
- ・変更後の金額 6371万8920円
- ・契約の相手方 (株)松輝 松本武治 (賛成全員)

工事請負契約

町道3号線道路改良

その5工事他2件

- ・契約金額 1億6470万円
- ・契約の相手方 西田建設(株) 西田 厚 (賛成全員)

工事請負契約の追認

山城多賀駅

昇降設備等工事

- ・契約金額 1億4291万5千円
- ・契約の相手方 西日本旅客鉄道(株) 京都建築工務所長 内藤邦彦 (賛成全員)

この工事は昨年9月14日に契約したのですが、議会での議決を行っていなかったため、今回追認することになったものです。

同意案件

自治功労者

奥 西 康 人 氏



多賀北赤坂 (賛成全員)

専決処分

和解及び損害賠償

・事故の概要

井手分署の消防車が後退駐車する際に駐車していた相手方車両に追突破損させたもの。

・和解内容

本町が損害の10割を負担する。

・損害賠償額

21万6999円

意見書

核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書

提出者

谷田みさお議員

(賛成少数)



京都府町村議会 議員研修会

議長 丸 山 久 志



7月21日にルビノ京都堀川で、京都府町村議会議員の研修会が開催されました。

第一部では、科学ジャーナリストで、日蓮宗僧侶の高野誠鮮氏による『人を動かす』と題しての講演がありました。

自身の行政経験の中で、「過疎から生まれた神子^{かみこ}原米^{はらまい}」をローマ法王に献上したなどのまち起こしの話があり、興味深く聞かせていただきました。

第二部では、政治評論家で元時事通信社特別解説委員の加藤清隆氏による『世界の日本〜今後の安倍政権はどう動くのか』と題して、自身が出演するテレビ番組「そこまで言って委員会」でのエピソードなどを交えた講演がありました。

京都府町村議会

広報編集委員長等研修会

広報編集委員会

副委員長 岩 田 剛



8月10日に京都府自治会館ホールで京都府町村議会広報編集委員長等研修会が開催され、

ポイント」についての講演がありました。

アドバイザー、グラフィックデザイナーの長岡光弘講師による「広報誌の媒体特性を知る」「広報誌の編集

ポイント」についての講演がありました。

グラフィックデザイナーの長岡光弘講師による「広報誌の媒体特性を知る」「広報誌の編集

民目線に立った読みやすく理解しやすい紙面の作成、写真図表の活用による読みやすい広報誌の編集方法について詳しく講演いただき、今後の広報誌づくりに大変参考になりました。

今後、講演内容を編集作業に大いに生かし、よりよい紙面作成に努めていきたいと思えます。

市町村議会広報研修会

広報編集委員会

副委員長 岩 田 剛



8月22日にルビノ京都堀川で市町村議会広報研修会が開催されました。

講演の後、府内19市町の広報誌についてクリニックが行われ、「発行目的に沿った企画・編集になっているか」「読みやすさ、分かりやすさへの編集技術は」という項目に絞り、各市町の広報誌編集技術について具体的に指導いただきました。

今回の研修を契機に、住民の皆様が議会活動に興味を持っていただき、活動の内容をよりご理解いただけるよう編集企画・技術の向上に努めていきたいと思えます。

町政を問う

岡田 久雄 議員

- ◆ 図書館事業の充実及び「セカンドブック事業」の推進について
- ◆ 子育て支援の充実「子育て応援ブック」の作成について

中 坊 陽 議員

- ◆ 乳幼児からの定期健診について
- ◆ 井手小学校有王分校の管理と活用について

村 田 忠文 議員

- ◆ 子育て支援としての学校給食費補助の拡充について
- ◆ 入学式・卒業式における起立について

谷田 みさお 議員

- ◆ 国民健康保険の都道府県化について
- ◆ コミュニティバス等住民の移動手段確保について
- ◆ 公衆無線LANサービスについて

木 村 武 壽 議員

- ◆ 木津川右岸宇治木津線について
- ◆ ICT教育について

29年12月定例会の案内(予定)

12月 14日(木) 午前10時から 本会議 開催(一般質問等)

12月 22日(金) 午前10時から 本会議 再開

予定であり、日程が変更となる場合があります。

議会傍聴にお越しく下さい

議会は誰でも傍聴することができます。

詳細は議会事務局まで(電話 82-6172)



岡田 久雄 議員

子どもの読書活動推進は

Q 本町では、他市町に先駆けて絵本贈呈事業が実施されており、子育て世代から大変喜ばれている。

読書好きな子どもほど学力向上に結びついているという文科省の調査結果もある。

全国的に、小学校入学時などにも本を贈るセカンドブック事業を実施している。

①本町では、他市町に先駆けて絵本贈呈事業が実施されている自治体も増えている。

②絵本贈呈事業の取り組み内容と過去3年間の贈呈率は。

③読書週間の取り組みは。

④セカンドブック事業についての考え・課題は。

読書環境は充実

社会教育課長
高江

A

①読書通帳は、読んだ本の記録を残すもので、27年9月から導入した。

29年8月までに370

人の方に414冊発行した。利用者から、どのような本を借りたの



読書週間を迎えた町立図書館

かわかるなどの声を聞いている。

今後、周知方法を工夫し、利用者拡大に努めることが課題。

②家庭での読書活動の促進を目的に1歳から3歳までの子どもを対象に、保護者と読み聞かせ事業に参加した子どもに、希望の絵本を贈呈している。

贈呈率は、26年度66%、27年度71.7%、28年度75.6%と向上している。

③子どもの読書週間には、お話し会と子どもに関する図書を展示。

秋には利用者のおすめの本とその感想を互いに紹介し合う企画を例年実施。

④子どもの読書活動を推進する方策の一つと認識しているが、学校図書館に学校司書の派遣・読書イベントの開

催・担任と連携した学校図書館の活用などに努めている。蔵書は、山城地方唯一図書標準を100%達成しており、子どもの読書環境は整っている。現在のところセカンドブック事業の実施は考えていない。

子育て応援ブックの作成は

Q 子どもは親にも地域社会にもかけがえのない大切な宝物。子育ては楽しいときばかりではなく、不安や悩みがある。一人で抱え込まないよう支援が重要である。

他の自治体では、子育てに関する情報を応援ブック1冊にまとめた冊子

を作成して総合的に応援するところがふえている。

①子育てに関する知りたいう・便利な情報の広報の取り組みは。

②総合的な子育て応援ブックの作成とホームページの活用・わかりやすいガイド版の作成・配布は。

福祉課長
中坊

現在の情報誌をリニューアル

A

①保健センターでは、毎年4月に母子保健事業日程表を配布。

月齢・年齢等に応じた内容の情報を提供。転入者には、引き続き本町での健診等を受診するよう知らせている。

住民福祉課では「お子様がお生まれになった方へ」を配布して各課の窓口を案内している。子育て情報誌は庁舎や各所に配布。

②平成20年度から子育て情報誌を作成。毎年見直しを行い発行。28年度には、A4からB5サイズに変更した。来年度は、就学前の情報を充実させたい。

ホームページには、来年度リニューアルする分から掲載を検討。ガイド版は、保護者等の意見を取り入れ、常に携帯できる充実した内容の情報誌を検討したい。



村田 忠 文 議員

学校給食を無料に

Q 子育て支援として学校給食費補助拡充について問う。

的に進めてきた。

町長は就任以来、教育

と福祉の充実に力を注がれ、とりわけこの4月から、子育て支援医療費助成を満18歳まで完全無料化するなど、年々施策が充実・拡大している。

今日、子どもたちの食事や食習慣をめくり課題が指摘されている。学校給食の果たす役割は大きくなっている。

子育て支援の観点から、無料化するなど学校給食補助を拡充してはどうか。定住を促し、人口減少を食い止めることにもつながるのでは。

教育においても、食物アレルギー対応のため学校給食センター施設整備など、多彩な施策を積極

的に進めてきた。学校給食については、給食費補助を継続実施している。

汐見町長

来年度から全額補助

A 就任以来、基本政策

として、「あすを創造す

る教育や文化をはぐくみ、子どもたちがのびのび育つまちづくり」を掲げ施策の具体化に力を注いできた。

子育て支援策として、各種の保育や子育て支援

事業、教育関係では、これからのまちづくりを担う子どもたちの夢や未来を支援するための諸施策の実施に努めてきた。

学校給食費の補助拡充については、実施すれば継続が必要である。自主財源の乏しい本町では慎重な検討を要する



楽しい学校給食(多賀小)

が、子育て支援のより一層の充実と喫緊の課題である人口減対策も視野に入れて、来年度から全額補助を実施する。

国家斉唱の際起立は

Q 小・中学校の入学式、卒業式での国歌斉唱の際、

同僚議員が起立されない

状況が続いている。不思議に感じ非常に残念に思っている。

教頭の起立の掛け声で一人だけ立たないのはどうしてかと思っている児童・生徒もいる。

参加されている方からは、一体どうなっているのかとの声もある。児童・生徒に与える影響も

心配している。

入学式・卒業式は子どもが主役で晴れの舞台である。来賓が自分の主張を通す場ではない。学校行事は校長の責任で行われるものだが、この事態についての教育長の見解は。

松田 教育長

校長が適切に判断

A 一人だけ起立されない事態が続いており残念

に思う。

児童・生徒へ与える影響を憂慮している。

法や学習指導要領に基づいて式は挙行されている。

入学式・卒業式などをとり行う責任者として、校長が適切に判断

して対応するものと思う。



小学校の入学式(多賀小)



木村 武 壽 議員

宇治木津線 概略ルートと構造は

Q 木津川右岸宇治木津線道路新設促進協議会が発足してから長年具体的な進展が無かったが、新名神建設、白坂テクノパークへの企業進出などの開発を背景に、計画実現に向け動き出している。

民が道路を必要と回答をしている。

宇治木津線の概略ルートと構造についての進捗状況は。

概略ルートが決まれば、新庁舎の移転先や建設も具体的になると思うが、新庁舎の進捗状況を問う。

構成市町全住民アンケート調査では、9割の住

民が道路を必要と回答をしている。

宇治木津線の概略ルートと構造についての進捗状況は。

概略ルートが決まれば、新庁舎の移転先や建設も具体的になると思うが、新庁舎の進捗状況を問う。

建設課長
中村

総務課長
脇本

2回目のアンケート 調査を実施

A 近畿地方整備局で2回目の近畿地方小委員会が開催され、複数のルート帯案が提示された。

今後、2回目のアンケート調査が実施され、調査結果を参考に概略ルートの決定がされると聞い

ている。

構造は概略ルートが決まった段階で、地形地物を考慮して都市計画決定に向けた手続きが行われ、その際に道路構造が示されると考えている。

A

府教育委員会が実施

する「授業におけるICT

教育次長
中島

教員の指導力向上に努める

※ ICT教育とは情報通信技術（ICT）を教育で活用すること

生徒の学習意欲や達成感を高め、知識や技術の習得に高い効果が得られる。

が、教員の研修の充実を図る取り組みと子どもたちの授業の中での取り組みを問う。

ICT教育は児童・生徒の学習意欲や達成感を高め、知識や技術の習得に高い効果が得られる。

が、教員の研修の充実を図る取り組みと子どもたちの授業の中での取り組みを問う。

ICT教育で資質・能力育成を

A 新庁舎建設検討会議で、候補地が協議結果報告書として示された。

検討会議では和歌山県湯浅町、愛知県設楽町の視察研修を実施してきた。本年度は、基本構想・計画を作成する予定であるが各方面からも意見を聴取し反映することが重要と考え、その事務を進めている。

移転先は宇治木津線のルートが明らかになった時点で選定することになる。

移転先は宇治木津線のルートが明らかになった時点で選定することになる。

移転先は宇治木津線のルートが明らかになった時点で選定することになる。

移転先は宇治木津線のルートが明らかになった時点で選定することになる。



電子黒板を活用したICT授業（井手小）

「活用講座」などに教員を派遣し、伝達講習を行い、学校内でもICT研修に取り組んでいる。セミナーなどにも参加し、情報収集や先進事例の調査研究等で教員の指導力向上に努めている。授業ではICTを活用し、興味を引きつけ、わかりやすい授業へと改善が進んでいる。

や教材を拡大することにより興味・関心を高めることができる。情報機器の操作や活用方法を学習できる。教師は管理等の校務の効率化により、児童・生徒と向き合う時間が増える。デメリットとして、友達や教員等と直接的な会話が減るなど、人間関係の希薄化、体験不足になるという恐れもある。

集団づくりを一層進めるなど、工夫していくことも大切であると思う。情報活用能力は言語能力と同様に、学習の基盤となる資質・能力と位置づけ、ICT環境の整備・充実と指導力の向上に努めていく。



中坊 陽 議員

乳幼児の定期健診は

乳幼児の異常(障がい)は早期に発見し、対処することが望ましく、定期的な健診が重要と考える。

本町での定期健診について問う。

①何歳児にどのような内容、項目か。受診率は、異常(障がい)が見られた時の保護者への心のケアやアドバイスは、③処置については、専門機関や病院での検査、治療が必要だが、高額な費用が要する場合の支援策は。

保健センター
小笠原所長

母子保健法に基づき実施

母子保健法に基づき、乳児健診(100%)・1歳6カ月児健診(100%)・2歳6カ月児歯科健診(61・2%)・3歳児健診(94・0%)を実施。未受診児



各種の子育て情報

児健診の項目に歯・口腔の疾病と言語障がいなどの項目を加え、3歳児では、さらに目・耳・鼻・咽頭の疾病・異常の有無、2歳6カ月児では、歯・口腔の疾病の有無を実施。異常が見られたときの保護者への対応は、不安や疑問等に応じて障がい等の知識・医療機関の情報・利用できる制度等の情報を提供し、専門医療機関での診断確定後、適切な制度・サービスにつ

医療保健
中谷課長

ながるよう関係機関と連携し、支援を行っている。

①医療支援策では、障がいの等級や所得制限により、自己負担額が無料となる制度がある。

自立支援医療対象者は、自己負担上限月額が設けられている。

本町独自の子育て支援医療費助成制度として、満18歳に達する日以後の最初の3月31日まで医療費は無料。

福祉
高井課長

発達障がいや遅れがみられる場合、「府立こども発達支援センター」と連携し、早期に検査を行う。

療育が必要な場合、利用者の希望に合わせてサービスの調整や相談を行っている。

有王分校の管理と活用は

平成17年度から休校となっている井手小有王

分校は、雑草が茂り放置状態と見受けられるが、



避難所に指定されている有王分校

使用できるのか、校舎を含めた管理体制は、②小・中学校の課外活動や町の行事に活用してはどうか。

行政防災無線も設置しており、緊急時には避難所として使用できる。

休校以来、地元の協力や教職員による草刈りを行ってきたが、常時の施設整備・維持管理は職員体制や費用面から難しい。適宜、学校と連携し維持管理に努める。

林間学習で児童に施設の説明をしている。当面再開の見込みはないが、教育委員会として町行事等で施設活用を考えていきたい。

総務
協本課長

緊急時に避難所として使用

管理と今後の活用について問う。

①町の指定避難場所になっているが、緊急時に

使用できるのか、校舎を含めた管理体制は、②小・中学校の課外活動や町の行事に活用してはどうか。

教育委員会
中島次長

分校は、鉄骨造平屋建てで強固であり、田村新田区内にある公共施設であることから、避難所に指定している。

現在、地元自主防災組織の防災用資機材が保管されている。

休校以来、地元の協力や教職員による草刈りを行ってきたが、常時の施設整備・維持管理は職員体制や費用面から難しい。適宜、学校と連携し維持管理に努める。



谷田 みさお 議員

来年度の国保税試算は

Q 来年度の国保を都道府県単位とする新制度への移行を控えて、国も保険税の激変が生じないよう検討を求め、現実的な試算を行うことになったと思うが、試算結果を問う。

A 昨年度の国保会計は赤字となり、一般会計からの法定外繰り入れを行ったが、今後の法定外繰り入れの扱いを問う。

医療課長
保健中谷

現段階では公表できない

A 府による今回の試算は、現時点の関係データや国の提示係数、各市町村の予算見込みなど、今後変動が見込まれる数値を用いるとともに、平成30年度から新たに投入される公費の一部の反映と

なり、整理作業の参考値として示されたもので、現段階で公表できる結果ではない。

法定外繰り入れの扱いは、試算の精度が高まった段階で、結果を見きわめて判断をする。

住民の移動手段の確保は

Q 人口減少とともに高齢化が進み、高齢者を中心に交通弱者が増え、私的に送迎を担う若年層は減少している。

行政には、

交通弱者を生まないよう努力する責務があり、町内での移動を確保するコミュニティバス、さらに、近隣市の医療機関や商業施設も利用できるルートの拡充を

目指すべきである。

町内交通システムを即刻つくるべきではないか。



2004年に廃止された路線バス

財政課長
企画花木

JR複線化で利便性は向上

A 本町の市街地は府で最も狭く、市街地の中心

にはJR奈良線の2つ駅があり、現在実施している複線化事業の完成により、今後、利便性は高

まっていく。

事業の着実な進捗が公共交通網の整備につながると考えていることから、コミュニティバスの導入は考えていない。

公衆無線LANの無料提供を

Q 京都市では公衆無線LANサービスが観光施設等で無料提供されている。

※ につながる。

桜の季節だけでも、無料で公衆無線LANが利用できるサービスを提供できないか。

JR奈良線では、京都駅をはじめ6駅にしか整備されていない。

SNSで発信されれば町の知名度アップや集客

玉水駅でもJRの公衆無線LANサービスを提供するように要請できないか。

※ 公衆無線LANサービスとは誰でも街中でインターネットに接続できるサービスのこと

財政課長
企画花木

携帯電話事業者が判断

A JR奈良線では6駅で公衆無線LANサービスが利用できるが、携帯電話事業者が通信費などの費用を負担して提供しているものであり、どの駅で提供するかは、各携帯電話事業者が判断している。

サービスが提供されており、それらの施設で利用できる。



KYOTO Wi-Fiサービス



— 三宅安兵衛・清治郎父子が建立した石碑 —

JR玉水駅の駅前通りを西に進み、井手町役場に向かう道路の交差点北東の角に、大きな石碑(高さ190cm×33cm角)が建っています。

この石碑には、玉川や橘諸兄・蛙塚など井手の史跡・名勝と、方向や近隣市町村の案内が彫り込まれていて、碑の裏には「昭和3年秋稟京都三宅安兵衛遺志建之」とあります。

碑の形は色々ですが、碑の裏側に「三宅安兵衛遺志建之(一部に清治郎)」とある碑が、京都市内はもとより府南部のほぼ全市町に建てられています。

この三宅安兵衛さんが建てられた石碑が本町には8基あります。

このように大正・昭和のはじめにたくさんの石碑を建立した三宅安兵衛・清治郎父子とはどんな人であったのでしょうか。

三宅安兵衛(1840～1920)清治郎(1872～1940)父子は、京都市中京区高倉通六角西入で呉服商を営んでいました。この父子は京都府下に多くの石碑を建立したことでよく知られています。

この石碑に関しては、清治郎さんが父母の13回忌に編纂した本に書かれています。

これによりますと、父安兵衛さんが大正8年(1919)の元旦に、息子清治郎さんに1万円(現在の価値で1億円)を託し、遺言をしました。

「この金を予が死後、京都の為公利公益の事に使用せよ。是予が幼より故国(福井県小浜市)を出て京都に来たり、今日迄恩沢を蒙りし御礼の意也。

但し、その用途の方法・時期等は汝に一任す。要は克予が意を体せよ。

疎かに用いるなかれ。云々」

父安兵衛さんが翌大正9年に他界した後、清治郎さんはこの1万円を元手に大正10年～昭和5年(1930)の10年間に計2万円(現在の価値で約2億円)を投じ、京都府下に400余基の石碑を建立しました。

この碑については今も調査中ですが、現在350基ほどが確認されています。

今後、安易に移動したり、破砕を避けて可能な限り文化財の保存・保護を継続してほしいものです。



玉水駅前通りにある石碑

参考文献：

「京の石碑ものがたり」 株式会社 京都新聞社(1997)

「花園史学」 第22号 中村武生 研究ノート

“三宅安兵衛・清治郎父子建立碑とその分布”

(井手町 ふるさとガイドボランティアの会)

編集後記

暑かった夏が嘘のようにスギが風になびく心地よい季節となりました。

今年も例年通り小中学校・保育園の運動会、町民体育大会などが晴天のもとに行われました。さらに、10月22日には衆議院総選挙が実施され、例年になくことさら忙しい季節となりました。

今年は、子育て世代から要望の多かった施策のうち、子どもの医療費を満18歳まで無料とすることが実施されました。

また、食物アレルギー対応給食調理室の整備が行われ、来年度には学校給食費全額補助が実施される見込みです。

議会は、これからも住民の皆様方のご意見を頂戴しながら、行政と力を合わせ、住んでみたい、住んでよかったと思える町づくりを目指し頑張ります。

(T・I)

議会広報編集委員

委員	委員	委員	副委員長	委員長
古川	岩田	丸山	中坊	谷田
昭義	久志	みさお		